

排泄物の処理方法

How to Dispose of Bodily Waste



水^{すい}洗^{せん}トイレが機^き能^{のう}しないときは、
応^{おう}急^{きゅう}的にビニール袋^{ふくろ}に排^{はい}泄^{せつ}する
携^{けい}帯^{たい}トイレなどを使うことになる。
し尿^{しゅう}の入^いった袋^{ふくろ}は臭^{しゅう}気^き対^{たい}策^{さく}のため
にも確^{かく}実^{じつ}に封^{ふう}をしよう。保^ほ管^{かん}
場^{じょう}所^きには、ふたがで^よきる容^{よう}器^きを
備^{そな}える。使^し用^{よう}済^ずみの袋^{ふくろ}の収^{しゅう}集^{しゅう}、
運^{うん}搬^{ばん}、処^{しょ}分^{ぶん}などについては、各
自^じ治^ち体^{たい}のル^るール^るを守^{まも}ろう。

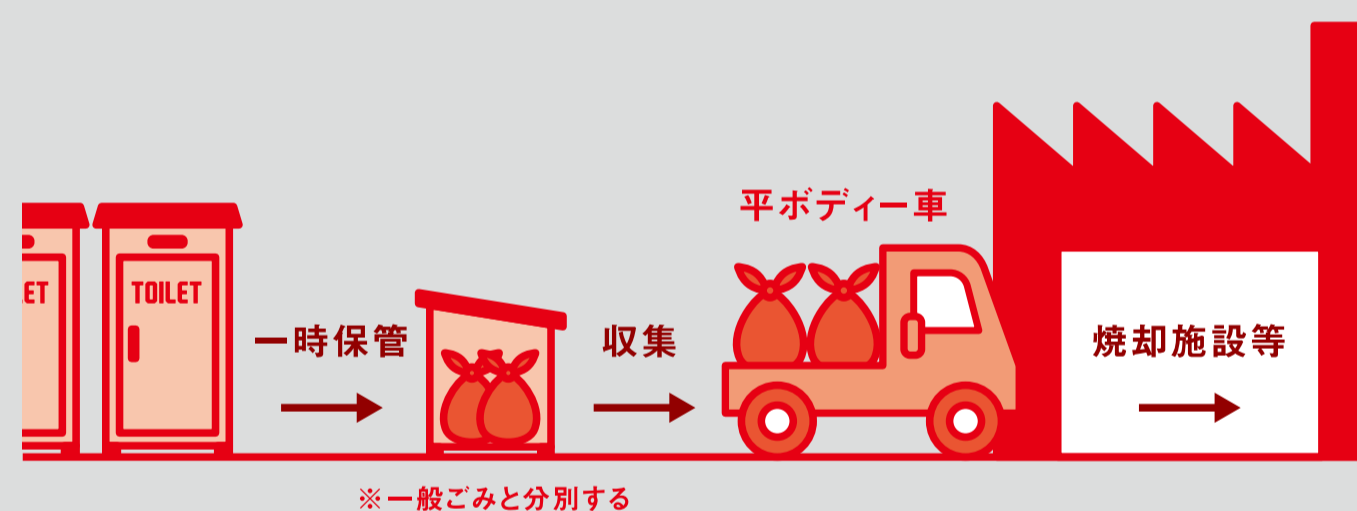
排泄物が処理されるまで^{*1}

- 

1 便座の上から携^{けい}帯^{たい}トイレの袋^{ふくろ}をかぶせる
※はずれないよう携^{けい}帯^{たい}トイレの袋^{ふくろ}の縁^{えり}を便座の下まで包^{つつ}むようにして挟^{くわ}む
- 

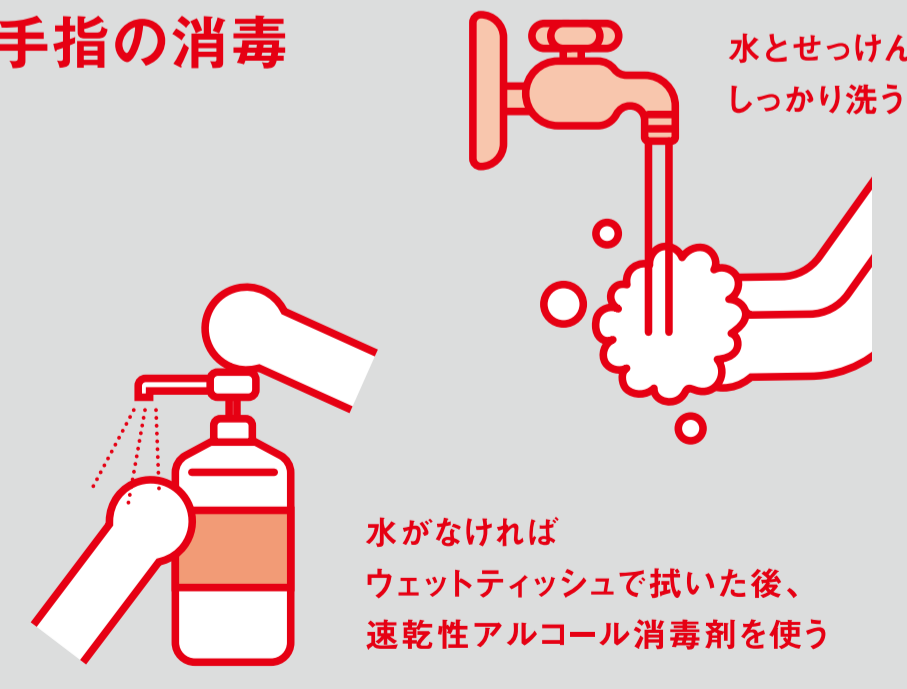
2 使用^し用^{よう}後^ご、携^{けい}帯^{たい}トイレの袋^{ふくろ}のみはずして口^{くち}をしぼる
- 

3 密^{みつ}閉^{ぺい}できる容^{よう}器^きや袋^{ふくろ}に入れ、一^{いっ}般^{ぱん}ごみと分^{ぶん}別^{べつ}して保^ほ管^{かん}



東日本大震災の時には、一般的なゴミ収集車で収集を行ったことで、便袋が破裂し、し尿が飛散した事例もあった。そのため平ボディー車などで収集する必要がある。なお、収集車両がすぐに来られるとは限らないので、各自である程度の期間、保管ができるようにしておく。

手洗いと手指の消毒



水とせっけんでしっかり洗う

水がなければウェットティッシュで拭いた後、速乾性アルコール消毒剤を使う

みんなで衛生管理^{*2}



トイレ掃除当番表を作って管理(気仙沼市)

仮設トイレは避難者が交代で清掃(陸前高田市)

若い人がトイレ清掃ボランティア(釜石市)

^{*1} 静岡県環境整備事業共同組合「災害時のトイレ対策の手引き」を加工して作成
^{*2} 写真提供:特定非営利活動法人日本トイレ研究所